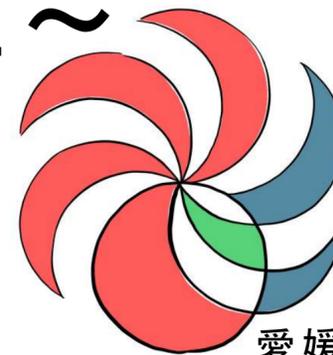
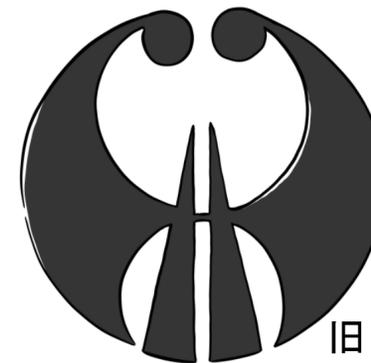


空樂里 ~KURARI~



愛媛県章



旧北条市章

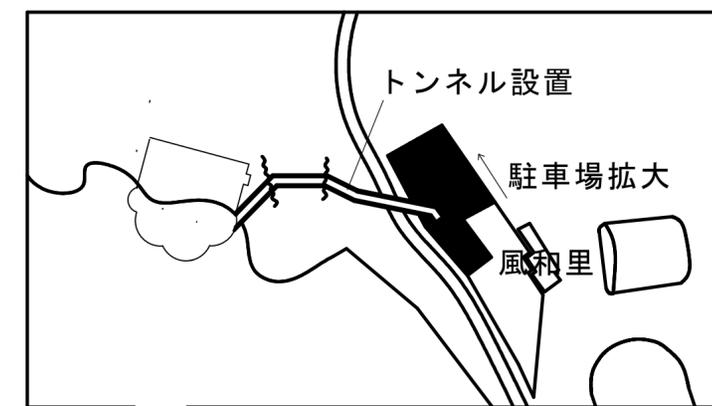
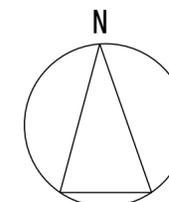
設計主旨

近年、デジタルデバイスの普及や、遊具の撤去、公園自体の減少により、地元の子供の遊ぶ時間・空間の確保が課題となっている。しかし、この問題は子供に限った話ではない。大人も家事や仕事に追われ、運動を習慣にすることができない状況だ。運動不足は体力の低下や心身の健康に深く関係してくる。この課題を解決するために年代問わず、人々が楽しく利用することができるアスレチック施設を提案する。

外観のモチーフは愛媛県章と北条市章である。多くの人を集め、シンボルになるようにという思いを込めた。ガラス張りの部屋が多く、北条の海を特等席で眺めることができるため、北条の自然の魅力を存分に感じてもらえる作りとなっている。私はこの設計によって、運動する場を提供すると共に、海水浴以外の目的を用意することによって、風和里に訪れる人を増やし、地域の活性化を図ることができると思う。

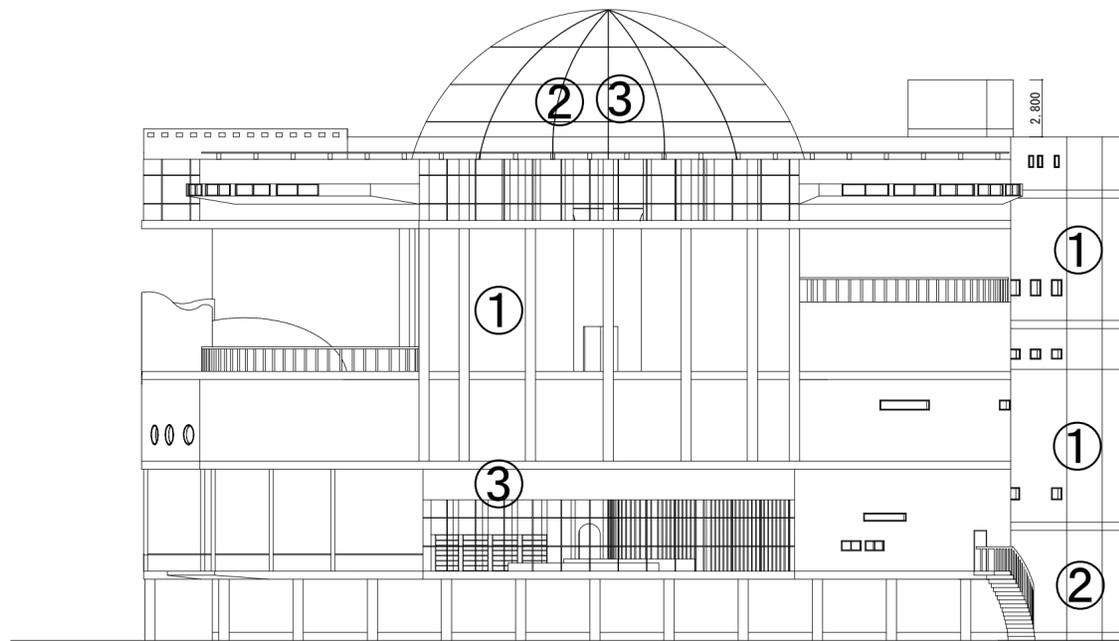
建築予定地

配置図



の駅風和里の駐車場を拡大し、共有とする。そこからトンネルで施設まで繋ぐことで、天

が確保される。また、最寄りである大浦駅からの道を整備、JR予讃線の利用者の増加が期待される。



① 南立面図 1/250

施設利用の目的は大きく分けて、①体を動かす。②心身を癒す。③交流を楽しむ。この三種類となっている。

①体を動かす

空中アスレチック、水中アスレチックでの全身運動をメインとしたアスレチックを設置している。壁をなくしたことにより、海の風や香り、景色など自然をより近くで感じることができ、リフレッシュ効果が期待できる。その他にもボールプールやトランポリン、スカッシュ、ビリヤードなど、大人も子供も楽しめるようなスペースを用意した。体育館やジムでの本格的な運動も可能である。露天風呂もアトラクションの一つとなっている。

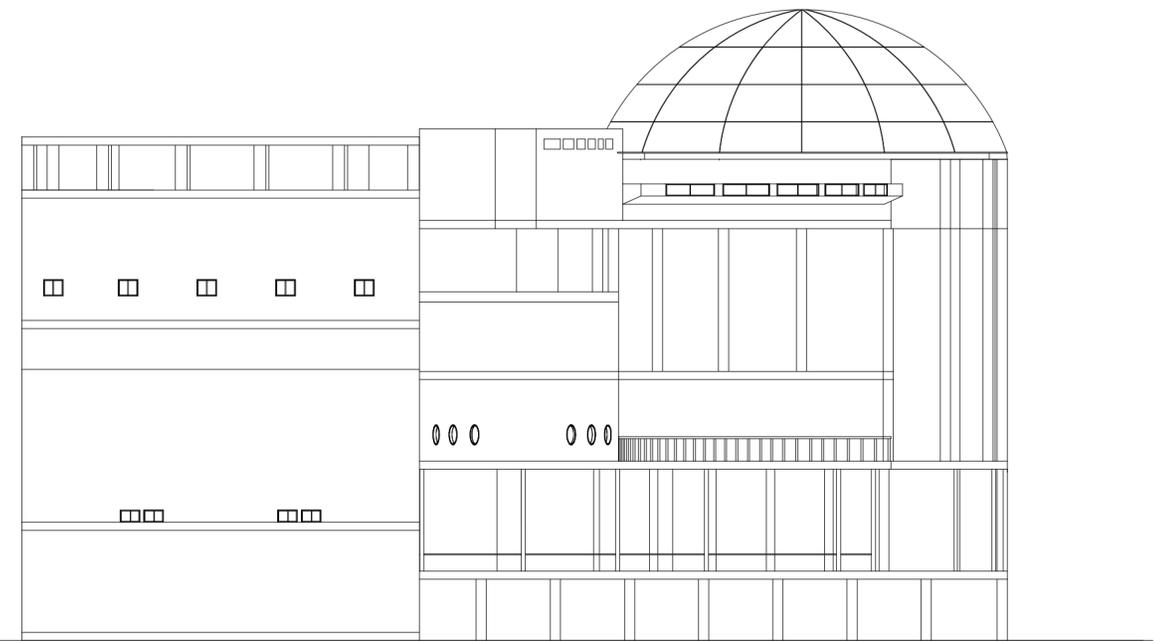
②心身を癒す

運動、海水浴後の温泉入浴をおすすめしている。暖かいお湯とサウナで体を癒し、隣の休憩室でゆったり休息をとることができる。最上階のカフェでは、地元の食材を使用した料理やスイーツで空腹を満たすことができる。さらに階段を上るとテラス席があり、波の音波の音に癒されながら、料理をたしなむことができる。

③交流を楽しむ

温泉やカフェ利用により、料理やスイーツ、景色、温泉を楽しみながら、地元の方の交流の場としても使用可能である。携帯やメッセージだけのやり取りではなく実際に会話する、人との関わりの場を増やす。それにより豊かなコミュニティを生成し幸福度や生命力を高め、地域の活性化を促す。

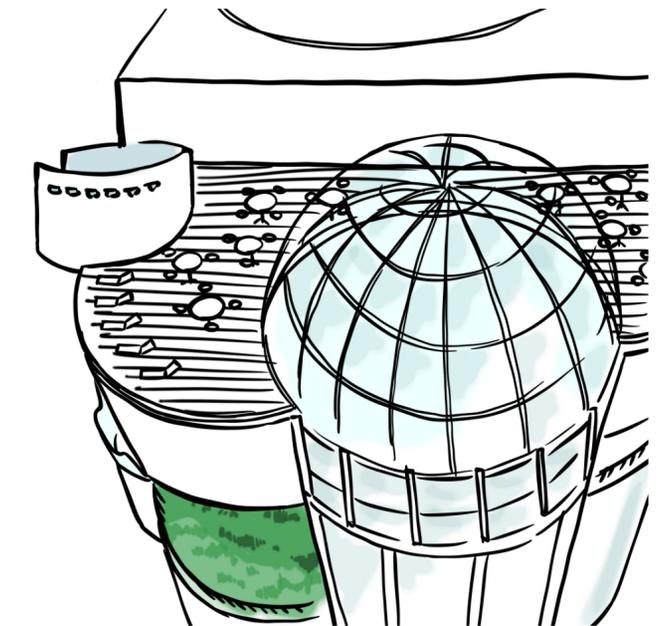
この設計がより多くの人の娯楽となり、現代のストレス社会を少しでも改善できるような建物になってほしい。北条に人を集め、魅力に気付いてもらうためのスポットになると嬉しい。



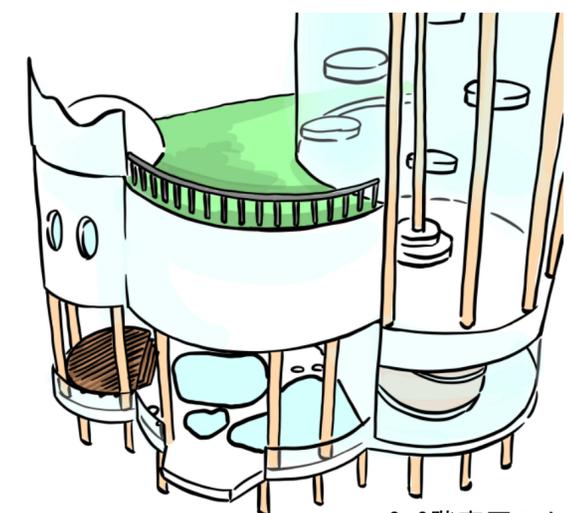
西立面図 1/250



ボールプールスケッチ

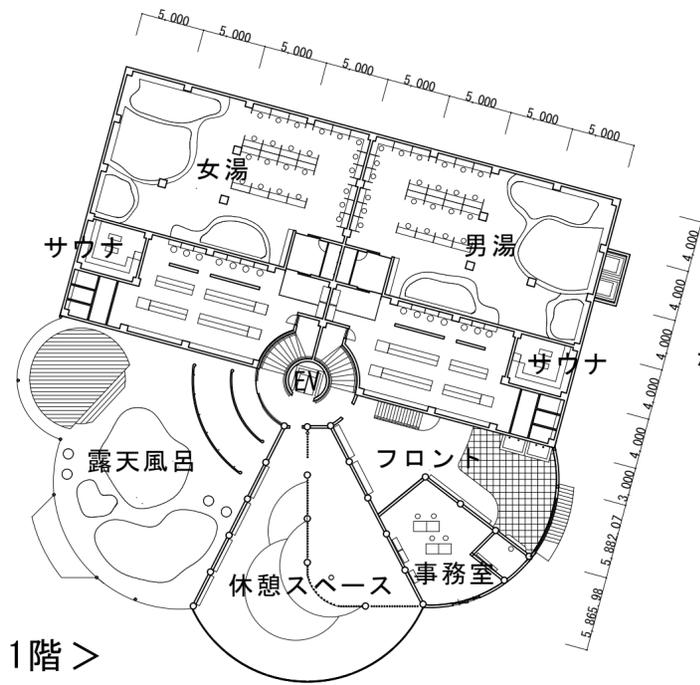
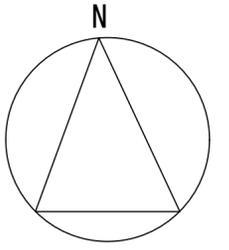


屋上テラススケッチ



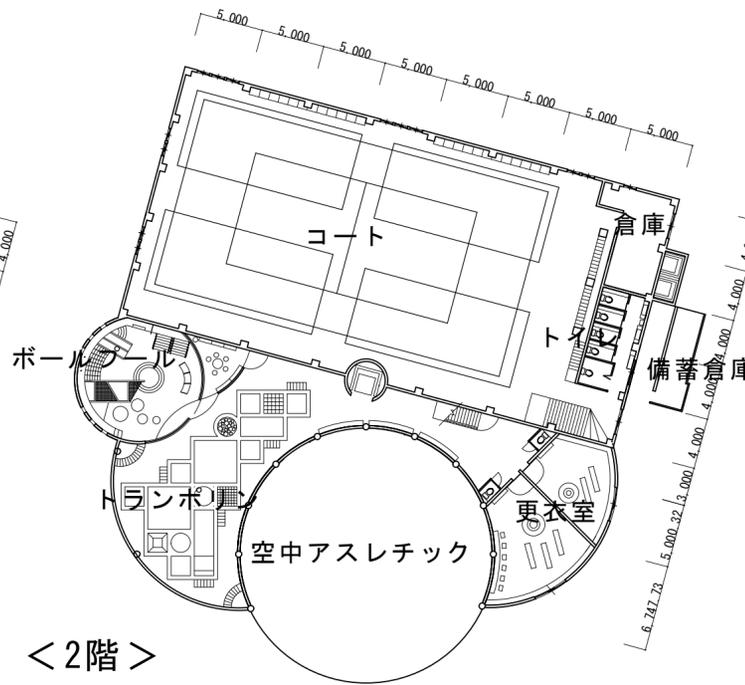
2,3階南面スケッチ

施設案内 平面図 1/500



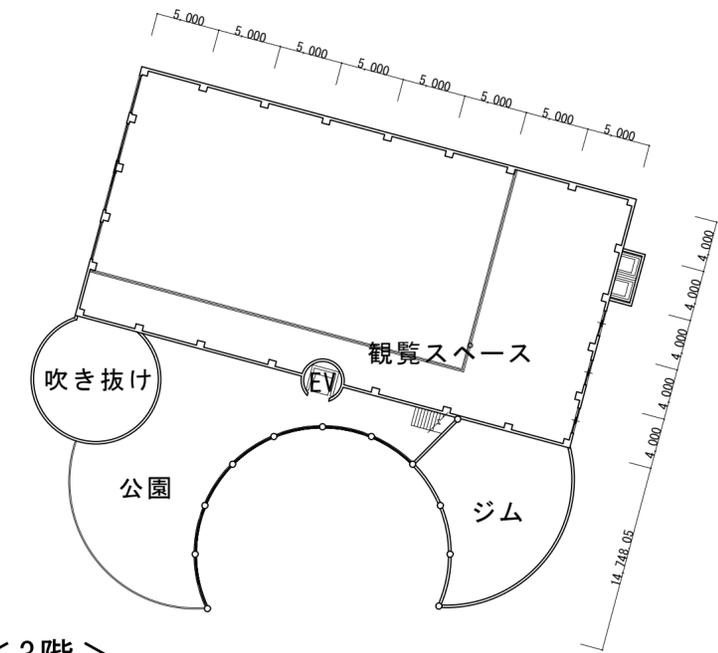
<1階>

温泉フロアとなっており、アスレチックでの汗を流したり、海水浴後体を温める。露天風呂は水着着用の上利用可能。休憩スペースではヨガや漫画・雑誌の貸し出しがあり、快適に体を休めることができる。



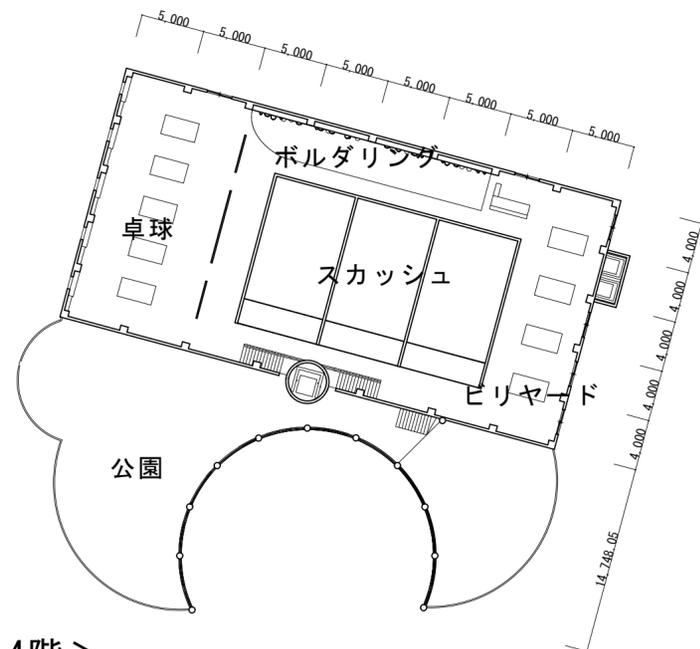
<2階>

南側の建物のメインは2、3階にまたがる空中アスレチックである。壁がないことで、自然お寄り身近に感じることができる。また、アスレチックのできない小さな子供が楽しめるトランポリン、ボールプールを設置。親が見守るためのベンチも置く。北側の建物ではコート競技ができる。バスケットやバレーなど本格的なスポーツが可能である。



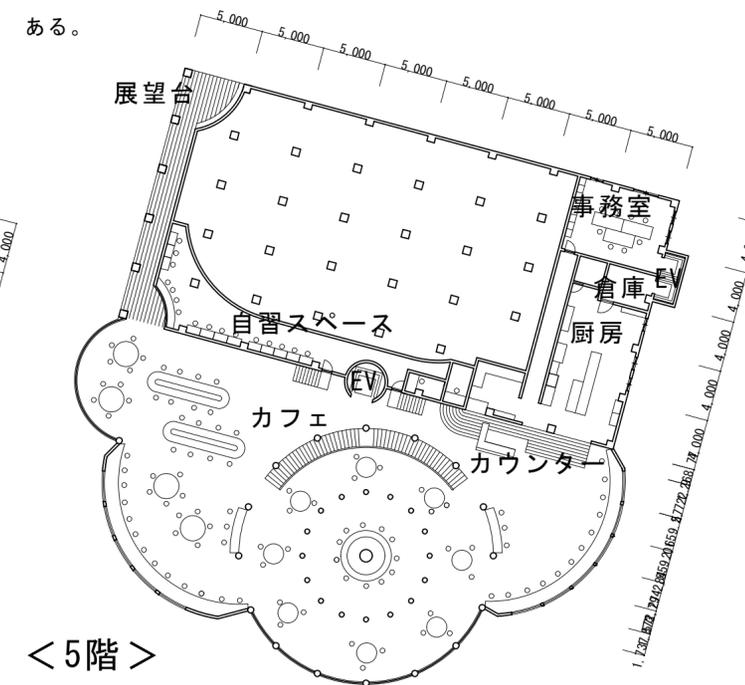
<3階>

近年の遊び場減少の対策として、屋内に公園を設計。人工芝と遊具を用意することで、より自然に近い環境でありながらも天候に関係なく遊ぶことができる。



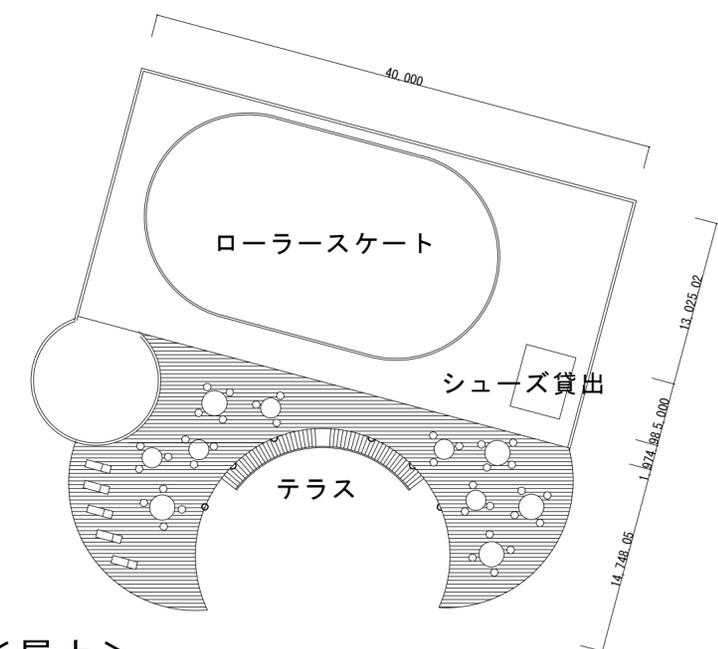
<4階>

スカッシュ、卓球、ビリヤード、ボルダリングの四種目を楽しむことができる。友達や家族と緩く遊びたい方におすすめ。



<5階>

カフェスペースとする。奥の厨房で調理し、料理を提供する。会場25メートルから北条の海を眺望できる。奥の展望台からの景色も楽しむことができる。時間がない社会人や学生は自習スペースの利用が可能である。地域の方々のコミュニケーションの場になることが期待できる。



<屋上>

カフェから階段を上ると、テラス席となっている。奥のローラースケート場は、シューズのレンタルがあり、手ぶらで参加することができる。

建築物イメージ



テラス席

カフェ

空中アスレチック

公園・ジム

キッズスペース

フロント・露天風呂・休憩スペース

ローラースケート場

厨房・事務室・自習スペース

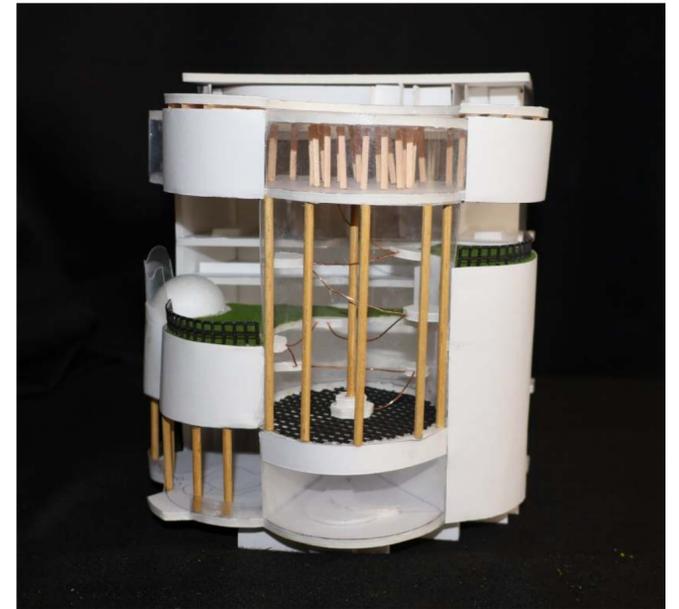
スカッシュ・卓球
ビリヤード・ボウリング

観覧スペース

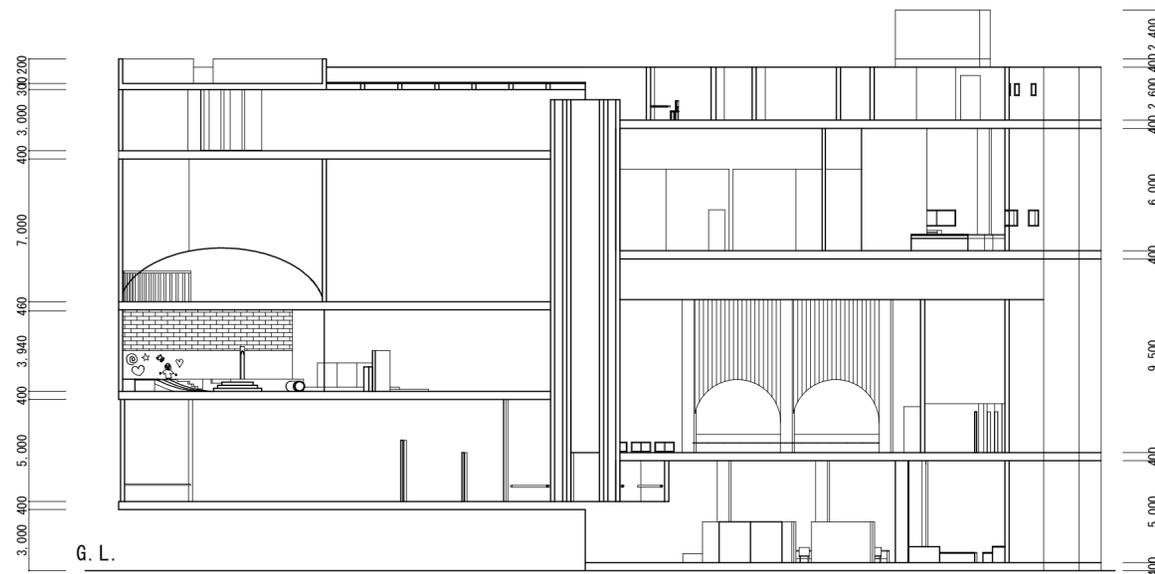
コート競技

温泉

水中アスレチック



断面模型



断面図 1/250

フロアごとに階高を変えている

- ① 階段を増やし運動量を増やす。
- ② 体育館やスカッシュのコートなどの高さを確保することができる。
- ③ 各階に足を運びやすい。